

## 戦争法廃止! スタンディング宣伝

アベ政治を許さぬ

### 暴走する安倍政権の退陣を

日時: **1月19日(火)** 12:10~12:40

会場: **富山駅・マリエ前ほか**

■原水禁国民会議など北朝鮮に抗議 県平和運動センター(山崎彰議長)と原水爆禁止国民会議(岡崎信也会長)は7日、北朝鮮による水爆実験の発表に抗議する声明を発表し

た。声明では「世界平和の脅威となるもので決して許されるものではない」と批判し、北朝鮮に対し直ちに核兵器開発をやめるよう求めている。

野党統一候補求め  
新団体17日発足へ

北北 参院選で市民団体

安全保障関連法の廃止を訴える市民団体などが8日、富山市のボルファートとやまで会合を開き、夏の参院選富山選挙区で野党統一候補擁立を求め、新団体の設立を決めた。17日に発足し、1千人の賛同者を目指す。

非公開で行われた会合には約40人が出席。発起人の土井由三元小杉町長が終了後に報道陣の取材に応じ「保守王国・富山で野党各党がばらばらに戦っているのは自民党を利用するだけ。戦争法(安保法)廃止の一点で一致できる野党統一候補が立つよう、各政党に求めていく」と述べた。新団体は発足後できるだけ早期に民主、共産、維新、社民、生活の各党と国会で1人会派を届け出た吉田豊史衆院議員、連合富山に申し入れを行う予定。会の名称や代表者は17日の会合で決める。

## 戦争法の廃止へ「市民連合」始動



「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合(市民連合)」が昨年12月20日、都内で発足会見を開いた。総がかり行動実行委員会、SEALDs、学者の会、立憲デモクラシーの会、ママの会の5団体有志が呼びかけたもの。市民連合の方針骨子は、戦争法廃止2000万署名運動を共通の基礎とし、①法の廃止、立憲主義の回復、個人の尊厳を擁護するのテーマで政策志向を共有する。政治の実現に向けた野党共闘を要求する②32の参院1人区での野党統一候補の擁立を要請する。市民側の関与による無所属候補の擁立も考えられる(無所属候補は当選した場合の議員活動について市民側と一定の協定を結ぶ)③個人の尊厳を擁護する政治に向け、公正な分配・再分配や反復古主義、言論の自由、辺野古新基地建設中止、脱原発など

↑連携をアピールする(左から)学者の会総がかり行動実行委、SEALDs、ママの会、立憲デモクラシーの会の代表者。

④市民連合は2000万署名 市民連合は新年1月5日、初の行動として東京・有明などで組織し、野党・新宿駅西口で街頭宣伝に取り組み、社民党から吉田党活動している各地の団体と首が参加した。



2016年、平和の危機です!  
(憲法・原発・TPP・教育・沖縄)  
みんなの力を結集して闘いましょう!

富山県平和運動センター

12(火) ゴゴ6時 自治労会館  
平和センター-旗南き